

第3章 事業終了後の取り組みについて

1. 事業終了後の取り組みについて

プログラムの課題を整理し、事業終了後の取組計画について委員会で諮った。

(1)プログラムの課題整理

■ プログラムの目的に沿った結果が出たか

(目的)

営業、販売、企画、製造などあらゆる職種に必要なスキルである、「データ分析」し、「問題発見」から「仮説立案」し、生産性向上や業務改善、また新商品、新サービスの提案などの問題解決につなぐことができるデータ活用人材(データリテラリスト)、DX時代を現場から下支えする人材を育成する。

・就業者の申込が多かった → 就業者向けのリスキングプログラムになった可能性

■ 地域ニーズ、受講者ニーズを踏まえたプログラムの開発・実施ができたか

(地域ニーズ)

広島県の東部地域は製造業(ものづくり)が盛んな地域であることなどから、DX 分野のリテラシーを涵養するプログラムについては、地域ニーズに則したものであったと思われる。

(受講者ニーズ)

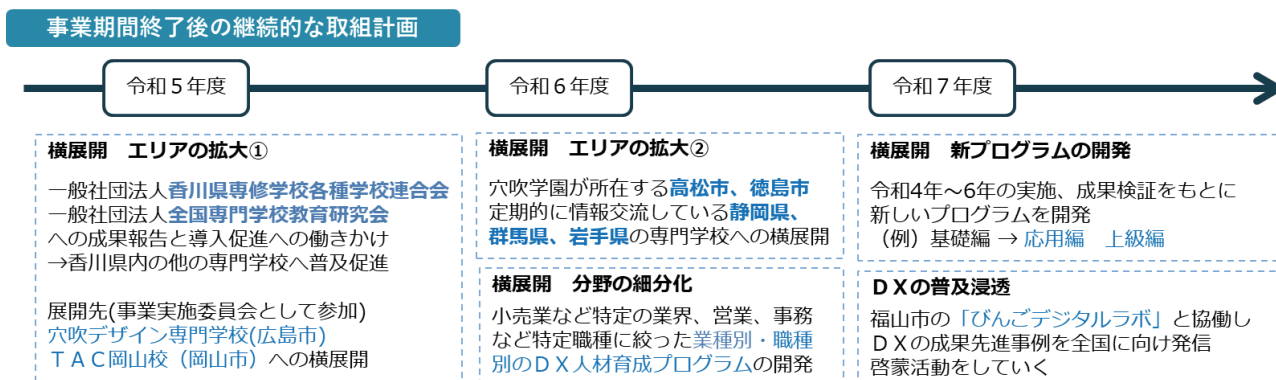
- ・求職中の方にとっては、平日の日中に実施され、受講期間が3カ月～5カ月程度の「公的職業訓練」の方が学べると感じ、当プログラムの申し込みには至らなかったところもあると思われる。
- ・非正規雇用労働者の受講者の内、「心ならずも非正規」の方は少なかった。
正規への転換希望・転職の為というニュアンスの方は1名であった。仕事を離れずに新たな分野の知識・技能を身につけたいという、リスキング(職業能力の再開発、再教育)にニーズがあったといえるかもしれない。

■ 今後継続的にリカレントプログラムの提供ができるか

- ・プログラムの内容をどのようにブラッシュアップさせるか
- ・地域ニーズの再検証とターゲットの再設定

- DXの先進事例から学ぶことが多いと思うので「データ活用先進事例研究」の内容を厚くしてやっていくのが良いと思う。先進事例や失敗事例というのがまだたくさんない時期だからこそ、こういったものがあると、より学んでみたいとなるのではないかと感じた。DXの先進事例というのは必ずしもプログラムを考えていくというわけではなく、今あるものを使って効率よくできる、そういったところからスタートするのがDXの基本。社内のメールのやり取りの内容など一つ工夫するだけでも、業務が効率よくできればそれはDXという認識のようだ。そういったこともプログラムに取り入れていくとより分かりやすくなると思う。同事業の成功事例等を探り入れていくと良いと思う。
- アンケート結果で、内容が少し難しかったという意見があったと思うので、就職・転職支援という視点を踏まえて言うと、求職者にとってハードルが高く感じられる内容にならないように、入門編など導入部分を設けるようにすると良いのではと思う。
- 今回の科目では、技能・技術的なものと知識習得の内容と混在していたように感じているので、今後はどちらかに振って分かり易くするのが良いと思う。
- DX分野のリテラシーということなので、範囲を広く設定されたと思うが、業種によって課題は様々なので、特定の業種に合わせて考えていくこともあっていいと思う。
- 今回の内容であれば、就業者にターゲットを絞っていく方が良いと思う。その場合、1回の授業時間を短くして期間を長くすることが受講しやすさにつながるので、受講希望者も増えるのではと思う。プログラムの内容を実務にすぐ役立つものでなく、ITとか基礎・基盤になるビジネス知識。学問的な内容をきちんと身につけることができる内容がものづくりの現場の就業者にとって必要だと思う。
- プログラムの内容として実習の方を増やすべきだと思う。またデータリテラリストという職種で求人がほぼなく認知度が低いと思う。DXというと業務を効率化するのが一番大事であるから、RPA(ロボティックプロセスオートメーション)なども追加されても良いと思う。
- 今回求職者が少なかったことは、公共職業訓練に流れたと考えられるが、今後もターゲットをどこにするかは、なかなか難しいと思う。また、内容については、地域の特性を踏まえてDXの活用事例を取り入れながらカリキュラムを組んでいただくことが良いと感じた。

(2)事業終了後の取り組みについて



- 同事業の成功事例等を取り入れていくと良いと思う。
- 各事業者の実例をもっと取り入れていくと良いと思う。
- 個人でこのようなプログラムを申し込んで受講することはなかなか難しいと思うので、
企業単位で受講勧奨していくことの方が受講生を増やせると思う。
- ビンゴデジタルラボ等と連携していくことが良いと思う。やはり企業単位で取り組んでいくことも
重要だと思う。
- 部分受講者の募集強化をしていくことが良いのではと思う。
- 横展開に際して、成功事例を参考にして展開していくのは一つだと思う。あとは地域ニーズを
的確にくみ取っていくことが重要だと思った。
- DXの基本的な考えで「見直し」が大事である。ブラッシュアップのためにも、「変える」というのが
一番大事なため、取組計画にあまりこだわらずにやっていかれたほうがいいと思う。
今回得られた教訓を活かしてまずはやってみること、その上でさらに課題が出たら修正していく
ことが重要だと思う。

以上